

①大学院先導的実学研究プロジェクト

大学院における高度な研究を推進するとともに、教育研究基盤の充実を図ることを目的として、各専攻の研究戦略（研究課題）に沿った独自の研究をプロジェクトごとに実施しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
ウシの腸内細菌叢と miRNA を考慮した新規飼養基準による持続的な乳・肉生産体系の提案	動物科学科・教授	岩田 尚孝	
アフリカ農業を救うストリゴラクトン高生産系の構築と、高活性類縁体の創出	バイオサイエンス学科・教授	坂田 洋一	 
抗肥満作用を有する高機能性ブロッコリーの選別と農大発の高機能性野菜の開発	農芸化学科・教授	井上 順	
日本ブランドエミューの創出を目指した遺伝・繁殖・栄養学的研究	北方圏農学科・教授	和田 健太	  

②大学戦略研究プロジェクト

21 世紀の時代的要請に応えるべく本学における戦略的な研究領域を設定し、「食の安全」「生物多様性」「SDGs」をキーワードとしたプロジェクトチームを立ち上げて、研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
異科属植物間での接木を志向した分子化学的アプローチ	分子生命化学科・准教授	斉藤 竜男	 
サブサハラ・アフリカにおける都市-農村間連携の再構築と農業・栄養・健康・自然資源の連環による持続型社会の構築	デザイン農学科・准教授	松田 浩敬	

			  
植物・昆虫・動物の多様性を指標とした島嶼農業生態系の評価と保全	生物資源開発学科・教授	小島 弘昭	
モンゴルにおける有機資材と耐乾燥性品種を活用した持続的農業技術の開発	北方圏農学科・教授	中丸 康夫	   
産官学連携による迅速なレタス新品種育成の核となるゲノム育種技術の開発	生物資源開発学科・助教	小松 憲治	 
生物多様性レジリエンスを踏まえた半自然草地の保全・再生手法の開発	森林総合科学科・准教授	今井 伸夫	
気候変動に伴う降雨パターンの変化が農地と作物に与えるリスクの評価と適応農法の確立に関する研究	生産環境工学科・教授	鈴木 伸治	
新たな肉用牛「無角黒毛」の創出—生産性とアニマルウェルフェアの向上を目指して—	動物科学科・教授	庫本 高志	
玄米摂取が非アルコール性脂肪肝に及ぼす影響の分子機序の解析	農芸化学科・教授	山本 祐司	

動物個体生産向上を目指した胚の着床能獲得を支持する子宮液内因子の解明	バイオサイエンス学科・教授	小川 英彦	 
With/After COVID-19 の持続可能な Food Supply Chain に向けたシナリオ分析	食料環境経済学科・教授	佐藤みずほ	 

③海外協定校との共同研究プロジェクト

本学と海外協定校との教員レベルでの学術交流を基礎とした共同研究体制のもとに、世界共通の問題解決へ向けた活動によって、国際社会への貢献を目指す研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs コール
	所属・職名	氏名	
ネパール・ヒマラヤにおける気候変動及び生活様式の変化による災害リスクと生物多様性への環境インパクトの包括的評価 (協定校：ネパール・ネパール農林業大学)	地域創成科学科・准教授	下嶋 聖	  
アジア・モンスーン地域におけるグリーンインフラの実態と枠組みに関する研究 (協定校：中国・上海交通大学、フィリピン・フィリピン大学ロスバニオス校)	造園科学科・教授	鈴木 貢次郎	   
熱帯地域への生物的土壌物理性改良システムの普及に向けた下層土の団粒化機構の解明 (協定校：ブラジル・サンパウロ大学)	農学科・助教	中塚 博子	

			
--	--	--	--

④農研機構とのマッチングファンド型共同研究プロジェクト

農研機構と本学の間で締結した包括的連携協定契約を機会として、将来の外部資金獲得、基礎研究の発展を踏まえつつ、研究成果の社会実装を目指す先導的研究に対し、双方から研究助成金を提供します。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
コムギコアコレクションおよび国内外の遺伝資源を利用した巨大胚コムギの探索とその選抜に最適な DNA	農学科・教授	西尾 善太	  
“地域適応型根系”大麦の開発にむけた根系の環境ストレス応答の研究	北方圏農学科・教授	伊藤 博武	 
窒素施肥方法の改善による穂数コントロールを活用したパン用小麦品種の高品質・多収栽培技術の確立	北方圏農学科・准教授	笠島 真也	
香り豊かな高品質ソバ創出に向けた重要香気成分の解析	食香粧化学科・教授	妙田 貴生	

⑤学部長主導型研究プロジェクト

学部の研究力を結集し、人財育成と社会発信を含んだプロジェクトです。研究テーマや研究体学部長主導により学部の研究力を結集することで「特色・強み」を具体的に引き出し、将来的に社会貢献につながる農大らしい研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
地域主体のアザラシの循環型順応的管理システムの構築を目指して（～アザラシの生態系サービスと有効利用の可能性を探る～）	生物産業学部・教授	吉田 穂積	

			  
--	--	--	--

⑥若手・女性研究者支援プロジェクト

本学における若手・女性研究者の研究意欲及び研究能力の向上を図ることを目的に、研究者個人の独創的な発想を重視した研究活動を基礎研究、応用研究を問わず支援しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
IL-21 シグナルの NASH に対する病態生理的意義の解明	食品安全健康学科・助教	煙山 紀子	
新機能の開拓に向けたミニシクロデキストリンの合成研究	分子生命化学科・助教	若森 晋之介	
送風処理によるパッションフルーツ果実の追熟制御技術の開発	国際農業開発学科・助教	寺田 順紀	
日本原産のセリ科植物アシタバ (Angelica keiskei) の全ゲノム解読	生物資源ゲノム解析センター・嘱託助教	田中 啓介	 
根系発達と倒木腐朽度の時系列動態から紐解く倒木更新の成否	北方圏農学科・助教	岡田 慶一	 
芋焼酎の風味に影響する重要香気成分の生成メカニズムの解明	食香粧化学科・助教	金嶋 泰	 

⑦持続可能な農業研究プロジェクト

「担い手不足」や「高齢化」が深刻化した日本の農業は大きな転換期を迎え、また、温暖化等を背景とした自然災害が激甚化し、近年は農地や施設等の被害による経済的な損害が増加しています。このような農山村地域が抱える課題を解決し、持続的な農業の発展を目指す研究を推進します。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
有機栽培における微生物燃料電池技術効果の検証	生産環境工学科・准教授	トウ ナロ ン	
機能性付与アメリカザリガニの代替タンパク質創出	教職課程・教授	武田 晃司	  

⑧ポストコロナ社会対応・研究開発プロジェクト

農生命科学分野にも様々な影響を与えた新型コロナウイルス (COVID-19)。本プロジェクトでは、農学系総合大学としてポストコロナ、With コロナを見据えた社会の課題解決を目指す研究を支援します。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
屋内栽培環境データ収集に基づいた適正植物種と管理スケジュールの提案による豊かな屋内緑化の実現	農学部植物園・准教授	杉山 立志	 
船を利用した持続参加・体験型観光のモデル構築に関する研究	自然資源経営学科・教授	上田 智久	  

⑨東京情報大学との共同研究プロジェクト

本法人が設置する東京情報大学と共に、双方の特色ある研究力を結集し、大きな変革期を迎えている社会の課題解決に貢献する研究を支援します。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
うつ病患者における食事によるセロトニン量の変化と抑うつ症状の変化の検証	栄養科学科・准教授	若菜 宣明	
Society5.0 社会におけるレジリエンス農業の確立に向けた多様な人々の能力を発揮するロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）実装の加速化	地域創成科学科・教授	町田 怜子	    